

2019年5月22日

No. 19-143

株式会社 伊予銀行

## 「TSUBASAアライアンス」への滋賀銀行の参加について

伊予銀行（頭取 大塚 岩男）、千葉銀行（頭取 佐久間 英利）、第四銀行（頭取 並木 富士雄）、中国銀行（頭取 宮長 雅人）、東邦銀行（頭取 北村 清士）、北洋銀行（頭取 安田 光春）、北越銀行（頭取 佐藤 勝弥）および武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は、2019年5月22日（水）、「TSUBASAアライアンス」に滋賀銀行（頭取 高橋 祥二郎）が新たに参加することに合意しました。

地方銀行の広域連携の枠組みである「TSUBASAアライアンス」では、2015年10月の発足以来、フィンテックや事務・システム共同化、相続関連業務、国際業務など、参加行のグループ会社を含め幅広い分野で連携を図ってまいりました。

滋賀銀行の加入により参加行は9行となり、関西圏のネットワークがさらに広がります。今後も、各行のノウハウや知見を結集することで戦略的アライアンスを一層加速させ、付加価値の高い金融サービスの提供等をつうじて地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

### TSUBASAアライアンス

沿 革	2015年10月	千葉銀行、第四銀行、中国銀行の3行で発足
	2016年3月	当行、東邦銀行、北洋銀行が参加
	2016年7月	共同出資によりT&Iイノベーションセンター株式会社を設立
	2018年4月	北越銀行が参加
	2018年4月	「TSUBASA FinTech共通基盤」の提供開始
	2019年3月	武蔵野銀行が参加
連 携 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案、推進</li> <li>・参加行のトップライン増強、コスト削減に寄与する施策の立案、推進</li> </ul>	

以上

